



『Interfaces Configuration Guide』

この前書きは、次の項で構成されています。

- [ライセンス要件 \(1 ページ\)](#)
- [インターフェイスについて \(1 ページ\)](#)
- [インターフェイスのハイアベイラビリティ \(3 ページ\)](#)

ライセンス要件

Cisco NX-OS ライセンス方式の推奨の詳細と、ライセンスの取得および適用の方法については、『[Cisco NX-OS Licensing Guide](#)』を参照してください。

インターフェイスについて

Cisco NX-OS は、サポート対象の各インターフェイスタイプの複数の設定パラメータをサポートします。ほとんどのパラメータはこのマニュアルで説明しますが、一部は他のマニュアルで説明します。

以下の表に、インターフェイスに設定できるパラメータの情報の入手先を示します。

表 1: インターフェイスのパラメータ

機能	パラメータ	解説場所
基本パラメータ	説明、デュプレックス、エラー無効化、フロー制御、ビーコン	基本インターフェイスパラメータの設定
レイヤ 3	メディア、IPv4 アドレス	レイヤ 3 インターフェイスの設定

機能	パラメータ	解説場所
レイヤ 3	帯域幅、遅延、IP ルーティング、VRF	「Cisco Nexus® 3550-T ユニキャスト ルーティング構成」セクション 「Cisco Nexus® 3550-T マルチキャスト ルーティング構成」セクション
ポート チャネル	チャネルグループ、LACP	ポート チャネルの設定
セキュリティ	EOU	「Cisco Nexus® 3550-T セキュリティの設定」セクション

イーサネット インターフェイス

イーサネット インターフェイスには、ルーテッド ポートが含まれます。

Cisco Nexus® 3550-T スイッチには、次の注意事項と制限事項があります。

- Cisco Nexus® 3550-T は、10G の速度のみをサポートします。

アクセス ポート

アクセス ポートは 1 つの VLAN のトラフィックを送受信します。このポートのタイプはレイヤ 2 インターフェイスだけです。

アクセス ポートの詳細については、「アクセス インターフェイスとトランク インターフェイスについて」の項を参照してください。

トランク ポート

トランク ポートは、1 つの VLAN の非タグ付きパケットと、複数の VLAN のカプセル化されたタグ付きパケットを伝送します。（カプセル化については、「IEEE 802.1Q カプセル化」のセクションを参照してください）。

レイヤ 2 スイッチングポートは、アクセスポートまたはトランクポートとして設定できます。トランクは 1 つのリンクを介して複数の VLAN トラフィックを伝送するので、VLAN をネットワーク全体に拡張することができます。レイヤ 2 スイッチングポートはすべて、MAC アドレステーブルを維持します。

ルーテッド ポート

ルーテッドポートは、IP トラフィックを他のデバイスにルーティングできる物理ポートです。ルーテッドポートはレイヤ 3 インターフェイスだけです。

ルーテッドポートの詳細については、「ルーテッド インターフェイス」のセクションを参照してください。

管理インターフェイス

管理イーサネットインターフェイスを使用して、Telnet クライアント、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)、その他の管理エージェントを使用するリモート管理用ネットワークにデバイスを接続できます。管理ポート (mgmt0) は、自動検知であり、10/100/1000 Mb/s の速度の全二重モードで動作します。

管理インターフェイスの詳細については、『[Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide](#)』を参照してください。このマニュアルにも、管理インターフェイスの IP アドレスとデフォルト IP ルーティング設定に関する情報を記載しています。

ポートチャネルインターフェイス

ポートチャネルは、複数の物理インターフェイスを集約した論理インターフェイスです。最大 4 の物理ポートへの個別リンクを 1 つのポートチャネルにバンドルして、帯域幅と冗長性を向上させることができます。ポートチャネリングにより、これらの物理インターフェイスチャネルのトラフィックをロードバランスさせることもできます。ポートチャネルインターフェイスの詳細については、「ポートチャネルの構成」のセクションを参照してください。

ループバックインターフェイス

仮想ループバックインターフェイスは、常にアップ状態にあるシングルエンドポイントを持つ仮想インターフェイスです。パケットが仮想ループバックインターフェイスを通じて送信されると、仮想ループバックインターフェイスですぐに受信されます。ループバックインターフェイスは物理インターフェイスをエミュレートします。

インターフェイスのハイアベイラビリティ

インターフェイスは、ステートフル再起動とステートレス再起動をサポートします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。